

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	日本製鐵大分	H	● 1 - 2	K y uリーグに関わる皆様、無事リーグ開催できましたこと、心より感謝申し上げます。 全国社会人サッカー大会を目標に掲げ迎えた開幕戦でしたが、緊張と不安に加えて、日本製鐵大分の我慢強い攻守にわたる戦いぶりに、思うようなゲーム展開とはならず敗戦。 続く、第2節のKMGホールディングスFCでは、前節の反省を活かし、自分達のペースでゲームを進行させようとする中で、先制点を奪えたものの終盤に一撃の攻撃の質の高さに連続失点してしまい敗戦。
2	KMGホールディング	A	● 1 - 2	この2連戦において、攻守ともに質の違いを痛感したと共に、終始一貫した詰めの甘さをひしひしと感じました。 次節以降では、攻守ともにスキのない戦いを少しでもできるようにしていきたいと思えます。 最後に、運営に携わっていただきました大分県サッカー協会の皆様、審判団、ボールパーソンの皆様、ありがとうございました。
3	Brew KASHIMA	H	○ 1 - 0	第3節は、Brew KASHIMAさんとの試合でした。前節の反省を活かしつつ、自分たちのペースでゲームを進めるよう共通認識をもち、試合に挑みました。 立ち上がりから自分達から積極的にゴールを目指す形を作れたことにより、有意にゲームを進めることができました。 その中で、セットプレーから先制点を奪いきれたことで、さらに良いゲーム展開を作ることができました。 後半では、自分達の落ち着く場面が減り、相手の勢いに飲まれるシーンが多くなりましたが、粘り強く守り切ることができ、課題を抱えながらも勝ち切ることができました。 次節では、攻守ともにさらに精度を高めていきたいと思えます。最後に、審判団、鹿児島県サッカー協会の皆様、ありがとうございました。
4	九州総合スポーツカレッジ	A	○ 5 - 0	第4節は、九州スポーツカレッジさんとの試合でした。 前節に引き続き連勝を勝ち取りたいとのぞんだゲームで、立ち上がりセットプレーから得点が取れたことから、自分達優位に試合運びができるようになり、ゲーム中で攻守にわたり改善しながら取り組みました。 その後は、次ぎの追加点を皮切りに、良い雰囲気でも緩みなく終始一貫したゲームを継続させることができました。 次節以降から上位対決となるため、より一層の成長と緊張感をもって準備していきたいと考えています。 最後になりましたが、運営に携わっていただきました大分県サッカー協会の皆様、審判団、会場設営から運営を行っていただきました九州スポーツカレッジの皆様、ありがとうございました。
5	ジェイリースFC	A	● 1 - 4	第5節は、ジェイリースFCさんとの試合でした。 前々節を皮切りにチームとして好調を保って臨んだ上位戦。 難しいゲーム展開になることは予想されていましたが、開始から前線の選手にボールを収められる苦しい展開になり、そのまま開始早々に失点。 その後もうまく自分たちのペースをつかめず、連続失点をしてしまいました。 後半には攻撃の起点となるシーンが増えはしたが、得点に至ることなく1得点に終わってしまいました。 今後も続く上位戦に向けて、更なる成長を見せて何とか勝ち点を得られるよう準備していきたいと思えます。 最後になりましたが、運営に携わっていただきました大分県サッカー協会の皆様、審判団をはじめ会場設営から運営を行っていただきましたジェイリースFCの皆様、ありがとうございました。
6	ヴェロスクロス都農	H	● 1 - 3	第6節は、ヴェロスクロス都農さんとの試合でした。連戦となる上位戦でなんとか勝ち点がほしい試合でした。 自分たちがボールを握りながら、ゲームを展開していくことは、チーム内で難しいことを周知した上で臨みました。 事実、なかなかうまくいかないシーンが続いたが、前半を0 - 0で折り返した。うまく守備から豪快な先制点を奪い、そのままの勢いでゲームを終わらせたかった。 しかし、相手もギアを上げて点を奪いに来る中で、後手に回る機会が増えた中での連続失点で逆転負け。 まだまだ、地力が足りないかと再確認できた試合となり、今後も個人・チームともにレベルアップが不可欠だと感じた。 最後に、審判団、鹿児島県サッカー協会の皆様、ありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
7	FC延岡AGATA	A	● 1 - 4	<p>第7節は、FC延岡AGATAさんとの試合でした。全社の出場権を獲得する上で、重要な上位戦であったため、選手の気合も十分でした。しかしながら、序盤から相手の猛攻を受け、受け身の状態から試合になってしまったことから、苦しい時間が続きました。相手のロングボールの精度も高く、広い展開の試合でありながら、真ん中の選手の受け方のうまさはこちらに付け入るスキを与えてはくれませんでした。その中で失点を許し、勢いそのままに連続失点してしまいました。後半は、何とか自分たちのペースでゲームを展開したいところでしたが、やはり相手が何枚も上手でそれをさせてもらえず結果、敗戦となってしまいました。前期も残すところあと2試合になったので、一つでも勝ち星を積むため、コツコツと足元を見つめて練習したいと思います。最後になりましたが、審判団、宮崎県サッカー協会の皆様、運営から会場設営に至るまでしていただきましたFC延岡AGATAの皆様、ありがとうございました。</p>
8	KAJIKI F.C.	A	○ 2 - 0	<p>第8節は、KAJIKI FCさんとの試合でした。鹿児島対決でリーグ順位を一つでも上げるためには、勝ち点3が求められる重要な試合でした。開始早々から、自分達がボールを握りながらゲームを進めることができ、その中でしっかりと得点。その後追加点を取ったことでしっかりと勝ち切ることができ、次に繋げることができた。そして、前期最終節となる第9節は、川副クラブ酸との試合でした。チャンスは作るものの得点には至らず、もどかしいゲーム展開であった中で、PKからの失点。その後点を取りに行く中で、相手の華麗なカウンターを受けて連続失点してしまいました。なんとか攻撃の形を作り、得点には至ったものの時間内に追いつくことなく、敗戦を喫した。次回から後期が始まるので、今の現状を受け止め、少しでもレベルアップしたチームになって後半戦を戦い抜きたい。最後になりましたが集中開催するにあたりまして運営に携わっていただきました佐賀県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、川副クラブ様、Brew KASHIMA皆様並びに関係者の皆様ありがとうございました。</p>
9	川副クラブ	H	● 1 - 2	
10	日本製鉄大分	A	○ 2 - 1	<p>第10節は日本製鉄大分さんと、第11節はKMGホールディングスさんとの試合でした。どちらの試合も前期開幕戦で敗戦した相手で、リベンジと後期に向けて勢いを付けていきたい重要な試合でした。日本製鉄さんとの試合では、自分たちのゲーム展開で試合を進めていくことができた中で、連続得点をするすることができました。後半の相手の追い上げの中でもしっかりと守り切ることができ、無事にリベンジを果たせました。次のKMGホールディングスさんとの試合では、失点からの始まりとなり、劣勢のゲーム展開の中で苦しい時間が続きました。チャンスがあるものの得点できない時間が続き、もどかしいゲーム展開が続きましたが、最後の最後にしっかりと得点をするすることができたことで、後期の開幕を晴れやかにスタートが切れました。まだまだ、チームとしてのレベルアップを図り、取り組んでいきたいと思えます。最後になりましたが、2度目の集中開催にあたり、大分県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、日本製鉄大分サッカー部の皆様、九州総合スポーツカレッジの皆様並びに運営等に携わっていただきました皆様、ありがとうございました。</p>
11	KMGホールディング	H	○ 3 - 1	
12	Brew KASHIMA	A	○ 1 - 0	<p>第12節は、Brew KASHIMAさんとの試合でした。後期から好調を保っている中で、前期でも苦戦を強いられたBrew KASHIMAさんとの試合でした。梅雨の間の晴れ間で、気温も熱く大変な試合になることが予想されました。開始からお互いに難しいゲーム展開になりました。チャンスとピンチを繰り返す内容で、なかなか点が入らず時間だけがたっていきましたが、待望の得点を得たことで気持ちを前向きにすることができました。その後は、何とかその1点を守り切って勝ち切ることができました。次節以降もこの調子を保ちつつ、まだまだレベルアップしていきたい。最後になりましたが、佐賀県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、Brew KASHIMAの皆様、暑い中設備設置から運営までありがとうございました。</p>
13	九州総合スポーツカレッジ	H	○ 2 - 1	<p>第13節は、九州総合スポーツカレッジさんとの試合でした。連勝の中迎えた試合で、開始から自分たちが主体的にゲーム内容を握れる展開が続き、得点チャンスに迫るものの、なかなか得点できない時間帯が長かった。その中で、相手のカウンターに迫られることもあり、自分たちでゲームを難しくしてしまった内容だった。その中相手の巧妙なロングシュートにより失点してしまった。しかし、PKのチャンスから、立て続けに得点を獲得できたことで勝ち切ることができた。次回に得点を奪いきる部分の精度を上げて上位戦に望んでいきたい。最後になりましたが、鹿児島県サッカー協会、審判団の皆様、運営に携わっていただきました皆様、ありがとうございました。</p>

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
14	ジェイリースFC	H	● 1 - 5	<p>第14節は、ジェイリースFCさんとの試合でした。</p> <p>連勝の中迎えた上位戦。劣勢の中でゲーム展開になることが予想されていた中で、攻め込まれながらも自分たちのプレーを発揮しながら前半は戦っていた。</p> <p>しかし、後半になる中で相手の攻撃に対して遅れることが増え、攻撃の途中でのミスが続きショートカウンターを受ける数が増えた中で失点。</p> <p>攻撃の起点から得点を得たが、その中で自分たちのミスからさらに追加失点をもらってしまい、そのままゲームが終了した。</p> <p>これから上位戦が続くが、プレーの質、強度をさらに高めて勝ち切れるよう1週間煮詰めていきたい。</p> <p>最後になりましたが、鹿児島県サッカー協会、審判団の皆様、運営に携わっていただきました皆様、ありがとうございました。</p>
15	ヴェロスクロス都農	A	● 0 - 8	<p>第15節は、ヴェロスクロス都農さんとの試合でした。上位の相手に対して、何とか一矢報いるためにもと思い臨んだ試合でした。</p> <p>前半は、開始からこちらがゲームを握る展開から始まり、良い状態でスタートが切れました。得点機会も多かった中で、取り切ることができなかった。</p> <p>後半になり、相手の勢が増す中で、前半にもあったような自分たちの簡単なミスの連続から無駄なランニングが増えたこともあり、立て続けの失点をした。</p> <p>そのまま、流れを戻すこともできず試合終了。残り3節にはなるが、精度を高めると共に、ゲーム中に立て直しができる強さを身に付けたい。</p> <p>最後になりましたが、宮崎県サッカー協会、審判団の皆様、準備から運営に携わっていただきましたヴェロスクロス都農の皆様、ありがとうございました。</p>
16	FC延岡AGATA	H	● 1 - 2	<p>第16節は、FC延岡AGATAさんとの試合でした。相手の特徴も相まって序盤から激戦になることが予想されていました。</p> <p>実際、開始早々からロングボールから失点の危機に何度も直面しながら、首の皮1枚で繋がっている状態でした。</p> <p>その中で、相手のロングボールからドリブルで持ち運ばれ失点してしまいました。</p> <p>しかし、浮足立ったりすることなく相手のプレスを回避しながら持ち運び、チャンスであれば裏を取りながら得点チャンスを後半にかけて増やすことができたときに得点に至った。</p> <p>試合が拮抗する中で、互いに最後の局面で点を取り切ることができず迎えた最終局面のアディショナルタイムで失点。</p> <p>その後、決定的チャンスを作り出すも相手のGKの好セーブに阻まれそのまま終了した。</p> <p>悔しさの滲む試合ではあったものの、次につながる前向きなゲームであった。後2節をしっかりとよい形で締めくりたい。</p> <p>最後になりましたが、鹿児島県サッカー協会、審判団の皆様、運営に携わっていただきました鹿屋体育大学の皆様、ありがとうございました。</p>
17	KAJIKI F.C.	H	○ 4 - 1	<p>第17・18節は、宮崎での集中開催でした。</p> <p>第17節では、KAJIKI FCさんとの鹿児島ダービーとなりました。</p> <p>序盤はうまくいかずゆったりとした入りになり、思うようにいかない展開となり、受け手に回ることが多かったです。</p> <p>その中で、後半に自分たちで得点の形を創出することができ、追加点を重ねて勝ち切ることができました。</p> <p>最終節では、リーグのしめくりでもあり、自分たちが順位を保つうえで重要なゲームでした。</p> <p>4年生たちが体を張りながらも守り切り、練習通りの形を得点を取ることができました。</p>
18	川副クラブ	A	△ 1 - 1	<p>しかし、追加点を奪うことができず、豪快な失点をしてしまったため、引き分けに終わりました。</p> <p>シーズン中に成長を見せたチームただだけに、ここで終わりなのが残念ですが、来年度はさらに強いチームとなって返ってきたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、最終の集中開催を開催するにあたり携わっていただきました皆様、皆様に感謝いたします。</p> <p>また、長いリーグ戦を無事に終了に至ることができたのは、各チーム、九州社会人サッカー協会の皆様、各県の社会人サッカー協会、審判団の皆さま並びに運営に携わっていただきました皆様のおかげです。ありがとうございました。</p>